

すっかり日も短くなり、空の色は秋色です。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回はCRCの役割の中から「患者さんのケア」について、
患者さんとの関わりと、CRCが心がけている事をお話します。



【適格性の確認】

治験では、参加できる患者さんの条件が細かく規定されています。カルテ上の情報や、患者さんからの聞き取りにより治験への参加に問題がないかを確認します。

【同意説明】

担当医師の説明に加えてより具体的に時間をかけて患者さんに説明します。
生じた疑問や質問に対応したり、家族を交えて再度説明をすることもあります。

【スケジュール管理】

スクリーニング(治験で規定されている事前検査)の日程や治験薬開始日を患者さんと相談しながら決定します。治験が開始されてからの診察や検査の日を患者さんの都合に合わせて、治験の規定の範囲内でスケジュール調整します。

【入院中や外来時の面談】

治験薬の服用状況や併用する薬剤、副作用の有無・程度等を聴き取り、患者さんの状態を確認します。余った治験薬や被験者日誌(治験薬の服用状況や副作用を記録してもらう日誌)の回収等を行います。

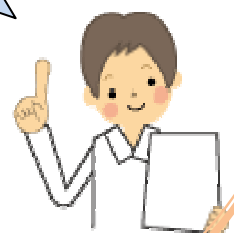
患者さんの中には、副作用が辛く治験の継続に悩んだり、ご自身の病気の状態や治験終了後の治療について不安を抱くなど色々な思いがあります。面談時にこのような相談や質問を受ける事も多くあります。

【診察に同席】

面談で得られた情報を医師に伝達し、医師から患者さんに十分な説明がされるよう配慮します。

CRCは、治験に参加された患者さんの意思を尊重し、安心して治験に参加出来るよう、サポートする事に努めています。

患者さんの不安は、十分にコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことで軽減される場合があります。CRCは、患者さんが気軽に質問できる身近な存在、頼られる相談窓口となれるように心がけています。



次回は、2011年1月発行予定です。